

ネットワーク・OS・アプリケーション層の脆弱性を定期的に診断

SiteScan 2.0

このような課題を抱える
お客さまに

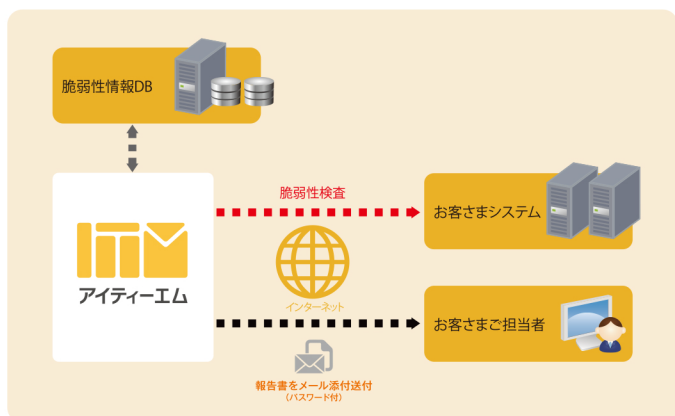
「ネットワークの脆弱性が心配」
「OSのバージョン管理が大変」

脆弱性評価基準 CVSS/CVE準拠の脆弱性診断

標準評価基準であるCVSS/CVEに準拠した検査エンジンにより、お客さまのシステムへ施されたセキュリティ対策のレベルを診断します。

※CVSS (Common Vulnerability Scoring System) :
コンピュータ・セキュリティ非営利団体「FIRST」が推進する脆弱性評価システム

※CVE (Common Vulnerabilities and Exposures) :
脆弱性やセキュリティにかかわる事象を説明するための用語等を標準化し、辞書を作成するプロジェクト



詳細な脆弱性レポート

SiteScan2.0では、約140,000件の診断項目があり、診断対象ごとにセキュリティリスクを検証していきます。発見された脆弱性の評価を「緊急・重大・高・中・低」で分類した上で、レポートを提示するため、優先順位を付けて対策を実施していただけます。

過去のスキャン結果と比較ができる 差分レポートをご提供

脆弱性の対策を実施した結果と、過去の結果とを比較したレポートを提示いたします。前回の診断では発見されなかった項目が、最新の診断結果で発見された場合は、その期間中に実施した設定変更等による影響を把握・検証ができ、自社システムのセキュリティ対策に関するノウハウを蓄積していくことが可能です。

オンデマンド型
Webアプリケーション脆弱性診断

WebSiteScan

このような課題を抱える
お客さまに

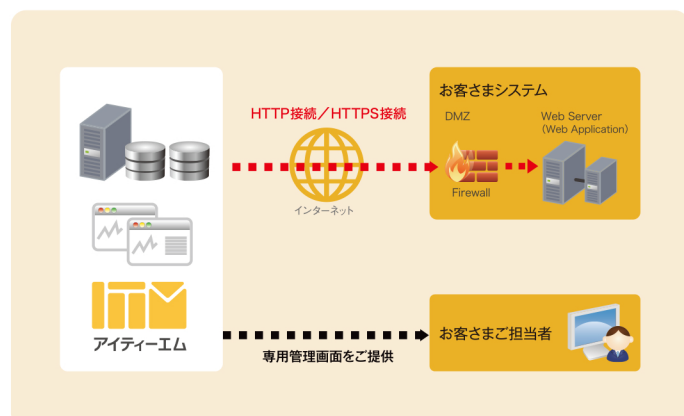
「費用を抑えてWebサイトを診断したい」
「Webサイト開発時に手早く検査したい」

SaaS型のサービス提供による オンデマンドサービス

WebSiteScanは、お客さまのWebサイトをリモートで診断を行うサービスです。

SaaS型のサービスなので、お客さまはソフトウェアやハードを新たにご購入いただく必要はございません。

オンデマンドによるご提供となっているため、お客さまのご利用したいタイミングに合わせてスケジュール設定も可能、診断終了後に即時診断レポートを発行します。



高性能なWebアプリケーション

システムへの影響を最小限に抑えるため、サーバ・ネットワーク負荷低減機能を搭載。ログイン後などのセキュリティが重視されるページの診断もおまかせください。さらに診断項目やパラメータは、常に最新バージョンに更新され、お客さまの作業負荷軽減が望めます。

充実のアフターフォロー体制で 低価格のサービスを実現

WebSiteScanは、診断ページ数による課金ではなく、URL単位での課金モデルです。自動化により価格を抑えた診断サービスとなっているため、ページ数の多いWebサイトを運営しているお客さまも安心してご利用いただけます。また、ソースコード上のリスク脆弱性を検査し、対策を講じるオプションサービスもご用意しております。

SiteScan 2.0

診断項目 診断項目数: 約 140,000 件

ホストのスキャン
ポートのスキャン、実行中のサービスの検出
ネットワークサービスの脆弱性
DNSに関する調査、メールサーバに関する調査、RPCに関する調査、ファイル共有に関する調査、SNMPに関する調査、SSHサーバに関する調査、データベースサーバに関する調査、パスワードに関する調査、管理サイトに関する調査、その他サービスに関する調査
Webサーバの脆弱性
Webサーバの脆弱性、Webアプリケーションサーバの脆弱性、許可されているHTTPメソッド、暗号化方式に関する調査、証明書に関する調査
各種OSの脆弱性
Windowsの既知の脆弱性、Solarisの既知の脆弱性、各種Linuxの既知の脆弱性、その他各種OSの既知の脆弱性
悪意あるソフトウェア
バックドアの調査、P2Pソフトウェアの調査
ネットワーク機器の脆弱性
各種ルータ機器の既知の脆弱性 各種ファイアウォール機器の既知の脆弱性 その他各種ネットワーク機器の既知の脆弱性
その他
その他ホスト全体の調査、情報
通常実施しない調査
DoS（サービス妨害攻撃）の実施、BruteForce（総当たり攻撃）の実施

診断費用	77,000 円～ (1IP)
診断方法	ツール自動診断
レポート	脆弱性の説明・発生箇所・差分レポート・管理サイトからPDF取得 (定期診断後、即時)
報告会の実施	ご相談ください
診断対象	公開サーバ全般
準拠規格	CVSS/CVE

WebSiteScan

診断項目

セッション管理	Cookieの取り扱い、セッションID、クロスサイトリクエストフォージェリ
入出力処理	SQLインジェクション クロスサイトスクリプティング ディレクトリトラバーサル コマンドインジェクション、改行インジェクション リンクインジェクション、HTTPレスポンス分割 その他
ロジック流出	エラー処理、情報公開、コメント
一般的な脆弱性	強制ブラウジング、ディレクトリリステイング
Webサーバ設定	システム情報の開示、不要なメソッド、ディレクトリ存在の確認、サーバエラーメッセージ

ハッキング原因の約70%を占める2大脆弱性に加え、PCI DSS^(※)にて要求される脆弱性も診断可能

※PCI DSS

VISA、MasterCard、JCB、American Express Discoverの5大カードブランドによって、2006年9月に設立された米国のPCIデータセキュリティ基準審議会 (PCI SSC) が制定した、国際的なクレジット産業向けのデータセキュリティ基準

診断費用	217,800 円～ (診断2回)
診断方法	ツール自動診断
ログイン後の脆弱性診断	○
レポート	○ 管理サイトからPDF取得 (診断終了後、即時)
報告会の実施	○ (オプション)
診断対象	自社サイト、キャンペーンサイトなど
準拠規格	PCI DSS

※より詳細なWebアプリケーション脆弱性診断をお求めのお客さまは手動診断対応の「WebSiteScan Pro」がおすすめです。

導入のご相談、資料請求はお気軽にお問い合わせください



受付時間 / 平日
9:30~18:30

0120-796-140



アイティーエム株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル32F

WEB

<https://www.itmanage.co.jp/>

記載内容は2021年6月現在の情報です。サービスメニュー / 価格内容等は予告なく変更される場合がございます。
※価格はすべて税込み表示です。